

よえもん

2016年11月

第43号

シリーズ
よえもん

いずみ ちゅうあい
泉仲愛



中江藤樹の門人で兄弟弟子として知られているのは、中川貞良と中川謙叔ですが、熊沢蕃山と泉仲愛もそうなのです。

泉仲愛は22歳の時、藤樹の門人になり、藤樹が亡くなるまでの5年間、学びを深めていきました。入門のきっかけは5つ上の兄、熊沢蕃山から藤樹の人となりや学問について話を聞き、ぜひ学びたいと思い小川村にやってきました。入門後は、中川謙叔ら、たくさんの仲間とともに切磋琢磨し、実力を蓄えていきました。

藤樹の死後は、備前岡山藩に召抱えられます。そして、仲愛は学校奉行を任せられ、兄の蕃山とともに藤樹の教えを岡山の地に根付かせていったのです。

その後、学校総奉行も任せられ、備前岡山藩教育の最高責任者として活やくしました。名君として称された池田光政は、仲愛のことを「古昔の君子」とたたえました。



「論語」里仁第四

書、淵田瑞穂さん

利に放りて 行えば 怨み多し

「自分の得ばかりを考えて行動すると、怨まれることが多い」という意味です。

人は、職場や学校、日常のくらしの中では、いろいろな人と関わり合って生きています。たれに対しても常に愛敬の気持ちを持ちながらおもいやりのある生活をし続けることが大切であると思います。

* 記念館だより *

やさしい「論語」入門講座を高島市在住の高校生以上の方たちを対象に開催します。今もさまざまな生活場面で使われている「論語」の言葉を学んでみませんか?? 詳しい内容が書かれた申し込め用紙は各支所や公民館、図書館等に置かせていただいています。

みなさまからのご応募お待ちしております!!

講座開催日: 11月19日、26日、12月3日、10日、17日 計5回



近江聖人中江藤樹記念館

高島市安曇川町上小川69 TEL:FAX (0740)-32-0330

